

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 南信州四季を感じる家

グループの名称 南信州住環境研究会

直近採択グループ番号 06-0532-0395

(グループ代表者)

代表者名 永井 大嗣 代表者印
代表者所属先 株式会社ナガイ
代表者所在地 長野県飯田市鼎下山
代表者電話番号 0265-24-7111

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社ナガイ
事務局担当者名 塩沢 智弘 印
事務局郵便番号 395-0803
事務局所在地 長野県飯田市鼎下山882-1
事務局電話番号 0265-24-7111
事務局FAX 0265-24-7164
事務局担当者E-mail shiozawa@nagai.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	南信州四季を感じる家
2. グループの名称(必須)	南信州住環境研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0532-0395
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	長野県中南信地域
5. 結成年(必須)	2016 年
6. グループ代表者名(必須)	永井 大嗣
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ナガイ
8. グループ代表者所在地(必須)	長野県飯田市鼎下山
9. グループ代表者電話番号(必須)	0265-24-7111
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ナガイ
11. グループ事務局担当者名(必須)	塩沢 智弘
12. グループ事務局郵便番号(必須)	395-0803
13. グループ事務局所在地(必須)	長野県飯田市鼎下山882-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0265-24-7111
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0265-24-7164
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	shiozawa@nagai.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	6	一部の原木供給事業者が海外にあるため登録できません。
II. 製材・集成材製造・合板製造	13	一部の事業者が海外にあるため登録できません。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	10	
IV. プレカット	8	
V. 設計	19	
VI. 施工	23	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<ul style="list-style-type: none"> ■ 合法木材証明制度を利用する ■ 合法木材証明制度を利用する ■ PEFC認証制度を利用する ■ PEFC認証制度を利用する ■ SGEC認証制度を利用する ■ FSC認証制度を利用する ■ FSC認証制度を利用する ■ FIPIC認証制度を利用する ■ クリーンウッド法に基づく証明 ■ クリーンウッド法に基づく証明 		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
	信州木材認証制度	長野県	信州木材認証制度	1	国内
	信州木材製品認証基準	長野県	信州木材製品認証基準	1	国内
	岐阜証明材推進制度	岐阜県	岐阜証明材推進制度	1	国内
	ぎふ性能表示材推進制度	岐阜県	ぎふ性能表示材推進制度	1	国内
愛知県産材認証機構認証制度	愛知県	愛知県産材認証機構認証制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	要注が確定した構成員へ優先的に配分する 採択棟数より申請希望棟数が多い場合は補助対象戸数を増やすことも検討する								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南信州四季を感じる家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県中南信地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 南信州住環境研究会	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0532-0395	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	寒冷地区区分の中では日照時間も長く、比較的温暖な南信州の気候に適應し、地域の森林資源を活用した環境と共生した住宅を目標とし、断熱性能はトップランナー以上(低炭素・性能向上・ゼロエネ住宅の推奨)、耐震性は熊本地震の経験から最低2以上、偏心率は0.15以下を必須とする	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	長い日照や寒暖の差、風の強弱の差を活かし、夏の日射の遮断、冬の太陽光の取得をコントロールできる深い軒出しや風の通りを考えた間取りとし、開口部に高性能窓を使用して遮熱・断熱性能の向上を図る	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	外観は歴史的な建物を踏襲し、当地域にあった・あってほしい建物を検討し、雨水対策が取り易く、太陽光発電の設置や太陽熱を取得し易い切妻の大屋根を軸とし、当地域の季節ごとの風向きに即した開口部や間取りを検討したデザインとする	○
④①～③の背景	日照時間が長く温暖な南信州の気候、街道の要所としての地域の風土＝文化の踏襲、森林資源の豊富な南信地域の特性、今後予想される東海沖地震への対応	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域材は森林資源を建物のみならず、エネルギー資源として活用するために薪ストーブ、ペレットストーブの使用を積極的に推奨し地域のエネルギー自立度を上げる	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内で用材について検討し規格化を図る	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様書の整備と併せて推奨建材を見積り等に盛り込むことにより統一化を進める	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様書の整備と併せて推奨建材を見積り等に盛り込むことにより統一化を進める	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 長期優良・低炭素・性能向上・ゼロエネルギー住宅に適合する標準仕様書の整備	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 調達事務の統一を目指し合理化を進める	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内の勉強会等を通じグループ内での意見交換を行い合理化を目指す	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 標準仕様書の整備等を進めることによって施工期間・費用等で合理化を目指す	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工基準のルール化に向けグループ内で検討し、研修会を行う	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: チェックシートの整備とともに建築主への開示を行う	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 積算の標準化に向けてルール作成を行い、わかりやすい見積提案を行う	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内業者が施工した物件について進捗状況の開示や完成後の現場見学会を積極的に開催する	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 仕事の効率化・合理化を進め、週休2日制導入へ向けて努力する	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内の業者へ加入を働きかける	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内の業者へ年1回など定期的に健康診断を行うよう働きかける	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南信州四季を感じる家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県中南信地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南信州住環境研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0532-0395	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴管理システムを利用しての管理を徹底する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: サービス機関のシステムを積極的に活用する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築主の問合せに応じサービス機関への問合せ・建築主への開示を行う	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回の点検の実施	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 迅速に対応できるようグループ内での体制作りを行う	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検のためのチェックシート作成を行い、事務局へ提出する	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局からグループ内の工務店へ情報の提供をする	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お手入れの方法等住まいに役立つ情報提供を行う	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカーと共催の展示会で相談会を同時開催する	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で維持管理に関する情報収集、情報提供を行う	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 協力体制についてルール化を行い、継続して維持管理を行う	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカーと協力し瑕疵についての勉強会を実施する	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店を対象とした勉強会の実施	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 品質管理のためのチェックシート作成し活用する	○
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: チェックシートの事務局への提出
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内施工業者への問合せを行い、需給予想を行う	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱・防水等の技術講習会の実施	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会を利用し技術向上を図り合理化を目指す	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 47 今年度の参加目標人数 6	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 17 今年度の参加目標人数 3	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 開催日時・場所の情報を事務局から案内し、受講を促す	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南信州四季を感じる家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県中南信地域												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南信州住環境研究会	(結成年) 2016年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0532-0395													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	主要構造材(土台・柱・梁・桁)に地域材を使用する(主要構造材の10%以上)												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: □ 使用していない ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: □ 使用していない ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: □ 使用していない ■ 使用している		柱: □ 使用していない ■ 使用している		梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している	造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している	板材	壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している
主要構造材	土台: □ 使用していない ■ 使用している													
	柱: □ 使用していない ■ 使用している													
	梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している													
板材	壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に 関する補足説明													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	■ ない □ ある → 内容:												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	■ ない □ ある → 内容:												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域の特産である根羽杉の活用を促す												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域内に調和する外観、色合い等を検討する												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 昔ながらの本棟造りを参考にデザインを検討する												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 新築だけを推し進めるのではなく、古き良き建物継承のためリフォームも提案していく												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 各自自治体の景観条例に基づく												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 置き畳等現在の住まい方にあった和の要素の提案を行う												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組														
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 南信州四季を感じる家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 長野県中南信地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 南信州住環境研究会	<small>(結成年)</small> 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0532-0395	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
太陽光が活用しやすく、雨水対策も取りやすい屋根面を南北にした切妻を基本とし、内装等は建築主の希望を最大限生かす設計・施工、さらに地域に適合する断熱性能の遵守、地域の景観・環境を生かした家づくり 南信州特有の寒暖差を緩和する比熱容量の大きい材料の使用・高性能窓の採用 (開口部平均U値 1.9以下)・トップランナー基準を満たす設備機器 (給湯・照明等) の導入、 外皮の高断熱化-平均熱還流率 (UA値) が3地域及び4~5地域で0.5となることを目標とした設計・施工 住宅の雨水対策及び劣化対策を最重点とし、長期に安心して暮らせる住宅		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。